

## 【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成22年2月8日
【事業年度】	第128期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）
【会社名】	株式会社西島製作所
【英訳名】	Torishima Pump Mfg. Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 原田 耕太郎
【本店の所在の場所】	大阪府高槻市宮田町一丁目1番8号
【電話番号】	(072)695 - 0551（大代表）
【事務連絡者氏名】	常務執行役員管理本部長 姫野 寛文
【最寄りの連絡場所】	大阪府高槻市宮田町一丁目1番8号
【電話番号】	(072)695 - 0551（大代表）
【事務連絡者氏名】	常務執行役員管理本部長 姫野 寛文
【縦覧に供する場所】	株式会社西島製作所 東京支社 （東京都品川区大崎一丁目6番1号 T O C大崎ビル9階） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

（注）上記の株式会社西島製作所 東京支社は、金融商品取引法の規定による縦覧に供する場所ではありませんが、投資家の縦覧の便宜のため縦覧に供する場所としております。

## 1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年6月26日に提出した第128期（自平成20年4月1日至平成21年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項がありましたので、これを訂正するため、有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2【訂正事項】

- 第一部 企業情報
- 第2 事業の状況
- 7 財政状態及び経営成績の分析
- (1) 財政状態

## 3【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_\_線で示しております。

- 第一部 【企業情報】
- 第2 【事業の状況】
- 7 【財政状態及び経営成績の分析】
- (1) 財政状態

### (訂正前)

当社グループは、「成長戦略の徹底」「オペレーション品質の向上」「CSRの推進（企業の社会的責任）」の3項目の経営方針のもと、健全な企業体質の実現とともに平成22年3月期は受注高500億円、売上高490億円、営業利益33億円、経常利益35億円を目指している。

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ55百万円増加し62,132百万円となった。これは、株価下落に伴い投資有価証券の帳簿価額などは減少したものの、売掛債権とたな卸資産が増加したことなどによるものである。

負債は前連結会計年度末に比べ2,080百万円増加し38,125百万円となった。これは株価下落に伴い投資有価証券の含み益が減少し繰延税金負債などが減少したものの、前受金が増加したことなどによるものである。

純資産は利益剰余金が増加したが、その他有価証券評価差額金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ2,024百万円減少し24,006百万円となった。

### (訂正後)

当社グループは、「成長戦略の徹底」「オペレーション品質の向上」「CSRの推進（企業の社会的責任）」の3項目の経営方針のもと、健全な企業体質の実現とともに平成22年3月期は受注高500億円、売上高490億円、営業利益33億円、経常利益35億円を目指している。

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ55百万円増加し62,132百万円となった。これは、株価下落に伴い投資有価証券の帳簿価額などは減少したものの、売掛債権とたな卸資産が増加したことなどによるものである。

負債は前連結会計年度末に比べ2,080百万円増加し38,125百万円となった。これは株価下落に伴い投資有価証券の含み益が減少し繰延税金負債などが減少したものの、前受金が増加したことなどによるものである。

純資産は利益剰余金が増加したが、その他有価証券評価差額金の減少などにより、前連結会計年度末に比べ2,024百万円減少し24,006百万円となった。

なお、上記に記載している将来情報については、本有価証券報告書提出日現在で判断したものであり、実際の業績は、様々な要因によって計画数値と異なる可能性がある。